

全教実習教員部 第35回定期総会アピール

職場を基礎に、憲法を守りいかすとりくみをすすめ、
どの子にもゆきとどいた実験・実習教育の充実を

5 全教実習教員部第35回定期総会は、どの子にもゆきとどいた実験・実習教育の充実と、実習教員の待遇改善を求めて 17 組織・ 17 名参加のもと、本日ここに開催されました。

世界ではロシアのウクライナ侵攻、イスラエルとハマスの武力衝突、中国、北朝鮮の活発な軍事行動などとても不安定な情勢が続いています。一方国内では、新型コロナウイルス感染症は昨年5月より5類感染症に移行され、徐々に行動制限のない平常時を取り戻そう
10 としています。しかし、物価上昇が止まらない中で生活改善ができる賃上げがなく、岸田政権は将来的に国の教育予算をはるかに上回る10兆円規模の予算を計上し大軍拡をねらっています。このような時こそ民意を結集し、改憲を許さず、憲法を守りいかそうと声をあげる幅広い運動が求められています。私たち教職員も学校が本来あるべき姿と現状のギャップを捉え直し、子どもたちの思いに向き合い、ていねいに声を聴き、教育について子どもたち
15 ち・保護者・地域の方々と共に語り合い、知恵を出し合うことが求められています。

第35回定期総会では「1. 子どもたちの現状と、実験・実習教育の充実に向けたとりくみ」「2. 賃金・生活・権利のとりくみ」「3. 組織拡大強化・実習教員部運動のとりくみ」を討論の柱に据え、参加代議員からは「ポストコロナ時代における実験・実習教育のとりくみ」「昇給停止や再任用賃金を含めた、実習教員の賃金改善に向けたとりくみ」「実習教員に向けられる様々な攻撃に対す
20 けるとりくみ」を中心に多数の発言がありました。また本年度準備を進めてきた制度改革検討委員会が契機となり、「教諭一元化」を目指した議論も交わされました。全教実習教員部に集う全国のみなさん、今総会で決定された2024年度運動方針に則り、学校種別・教科の垣根をこえた連帯によって成し遂げられる私たちの運動の到達点をめざし一丸となって共にがんばりましょう。

25 【全国の実習教員のみなさん】

私たち全教実習教員部は、長年にわたり全国各地の仲間と連帯した運動で、職名・呼称問題での前進や、1級・2級賃金の改善など、さまざまな要求の実現に向けて奮闘し多くの待遇改善を実現してきました。

みなさん、これまで積み重ねてきた運動に自信と確信をもち、あらゆる分野での国民的な共同と発展をすすめ、憲法を守りいかし、どの子にもゆきとどいた実験・実習教育の充実と保障がなされるよう全力を尽くしましょう。
30